

地域密着型金融の推進について

平成28年5月



北陸銀行



北海道銀行

1. 「地域密着型金融の推進」の基本方針について	… P	1
2. 地域密着型金融の推進体制について	… P	2
<平成27年度の取組みについて>		
3. 地域密着型金融の取組み		
(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	… P	4～6
① 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析		
② 最適なソリューションの提案		
③ 顧客企業等との協働によるソリューションの実行及び進捗状況の管理		
(2) 地域の面的再生への積極的な参画	… P	7
(3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信	… P	7
(4) 平成27年度目標項目の達成状況	… P	8
4. 事業性評価に基づく取組み	… P	9
5. 特集		
創業支援への取組み（北陸銀行）	… P	10
北海道新幹線開業に向けた取組み（北海道銀行）	… P	11

(1) 経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

(2) 中期経営計画“BEST for the Region”（平成28年4月～平成31年3月）

目指す姿

地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで「地方創生」の一翼を担い、地域と共に成長・発展する金融グループ

ほくほくFG
北陸銀行 北海道銀行
その他の関連会社

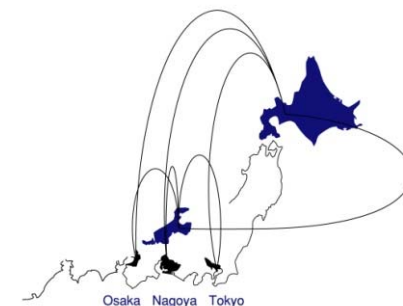
No.1サービス
ソリューション

信頼と選択

お客様
地域社会

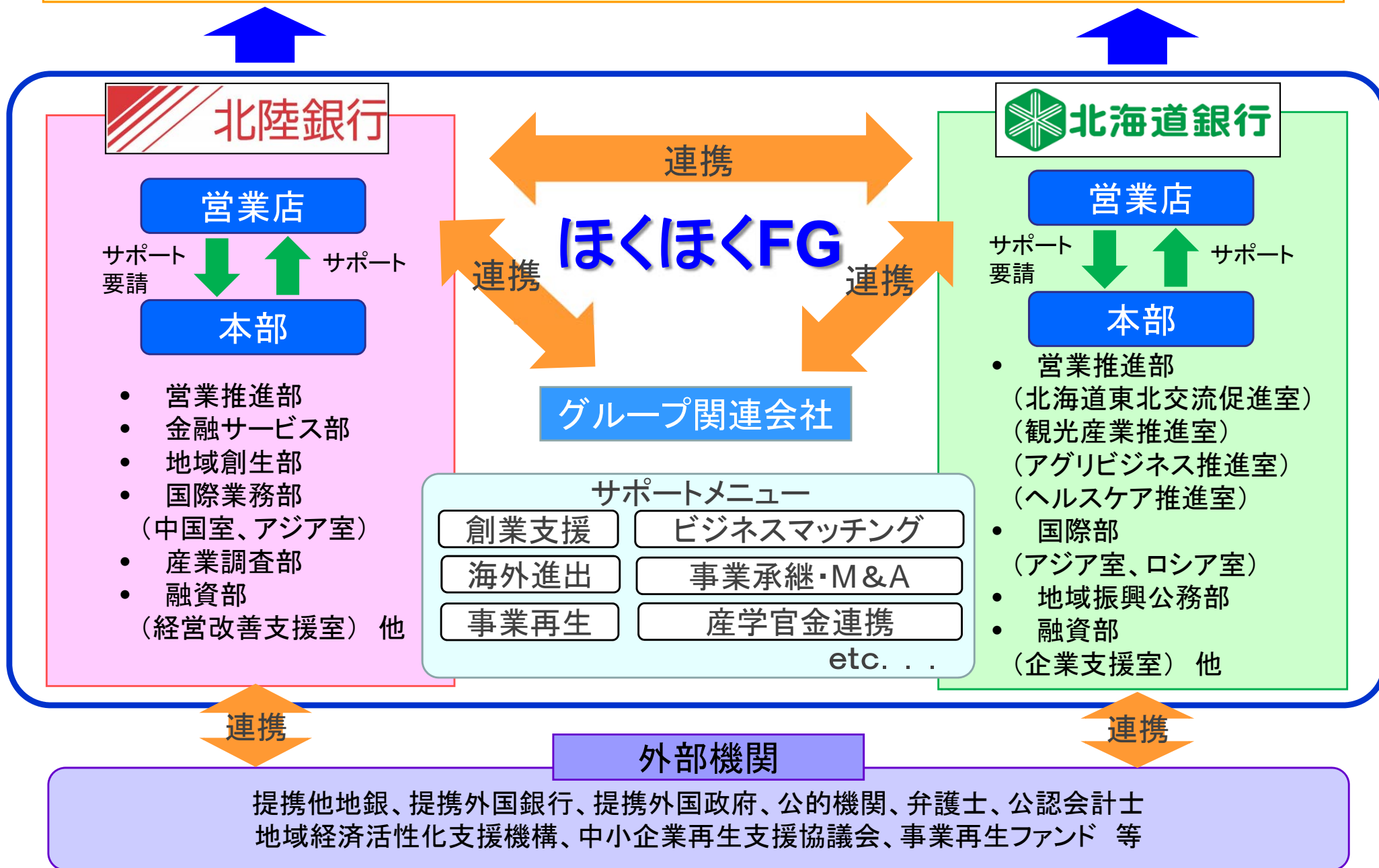
(3) 基本方針

地域密着型金融の本質である「地域と共に生きる」という志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。



2. 地域密着型金融の推進体制について

地域社会とお客さま ・ お取引先企業



平成27年度の取組みについて

3. 地域密着型金融の取組み

(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

① 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

- 地道な訪問活動等を通じてお取引先とのリレーションを強化し、経営目標・課題等を的確に把握・分析を行い、必要に応じて外部機関と連携して解決に向けたサポートを実施
- 研修や訓練を通じて融資担当者の提案力・実践力の強化を実施

北陸銀行

■ 北陸先端科学技術大学院大学と連携

教育・研究の推進や地域経済の発展、活性化を目的に「包括的連携協力協定に関する覚書」を締結しました。

連携を通じて、企業のニーズと大学のシーズをマッチングさせる橋渡し役を担ってまいります。なお、本提携により、北陸銀行と大学との包括的連携協力協定は12校となりました。

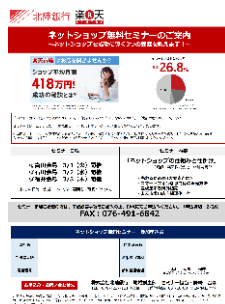


締結式の様子(平成27年11月)

■ 「ネットショップ無料セミナー」の開催

お取引先への情報提供の一環として、ネット事業を通じた販路拡大や創業を検討されている方を対象に、「ネットショップの仕組みと仕掛け」をテーマに、最新の事例を織り交ぜたセミナーを開催しました(協力：楽天株式会社)。

北陸三県で約100名が参加し、セミナー後には個別相談会も行われ、活発な意見交換が行われました。



セミナーの様子(平成28年3月)

北海道銀行

■ 「道銀創業支援塾」の開講

北海道における新たな「しごと」づくりのサポートを通じ、地域経済の活性化と雇用の促進を図ることを目的とし、平成27年10月より第1期を開講いたしました。



「道銀創業支援塾」(平成27年10月)

創業を目指す経営者候補と創業後間もない経営者の方々を対象とし、3ヶ月6回コースで事業計画、会計・税務など創業に必要なノウハウを学びます。平成28年度は、春コース、秋コースと年2回実施する予定です。

■ 産学官・金融連携によるモノづくり企業への支援

道内四高専と連携し道内モノづくり企業の人材確保に向けた取組みを継続実施。平成27年度は8月に四高専の学生32社による道内モノづくり企業の工場見学、12月には説明企業36社、四高専教授等38名が参加した

「第6回四高専企業説明会」を苫小牧市で開催いたしました。



企業説明会(平成27年12月) 工場見学(平成27年8月)

3. 地域密着型金融の取組み

(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

②最適なソリューションの提案

③顧客企業等との協働によるソリューションの実行及び進捗状況の管理

創業・新事業開拓

販路開拓・海外進出

経営改善支援・事業再生

事業承継・M&A

- お取引先の特性等を踏まえた実効性のある経営改善計画の策定を支援
- 外部専門機関と連携し、お取引先の課題解決となる提案活動を実施

北陸銀行

海外ビジネスサポートへの積極的な取組み

中国の江陰臨港経済開発区と経済交流の覚書締結



締結式の様子(平成27年12月) 6件目となりました。

(※) 江陰市は江蘇省東南部に位置する港湾都市でインフラ優位性から製造業やサービス業などの日本企業も進出しており、注目が集まっています。

①投資情報の提供、②企業進出の協力、③ビジネスマッチング企業の紹介で連携し、お取引先の事業展開をサポートしてまいります。中国の省・市との経済協力協定は

「2015大連－地方銀行合同ビジネス商談会」の開催

中国遼寧省大連市にて、地方銀行17行と大連市人民政府との共催で商談会を開催しました。約120社(うち当行取引先9社)が参加し、販路拡大に繋がりました。



商談会の様子(平成27年11月)

北海道銀行

「FOOD HOKKAIDO 2015」開催

北海道産加工品・農畜水産品の海外へのさらなる販路拡大を目的とし、札幌商工会議所「北海道ブランド」海外展開強化支援事業実行委員会が主催、北海道銀行は共催者として参加いたしました。



商談の様子(平成27年11月)

本商談会は、商談効果を高めるため、各国から参加したバイヤーが商品を事前に分析し、取引の可能性のある企業を事前に指名する「バイヤー指名型」で実施されました。

北海道銀行は、アジア・ロシア極東を中心とした海外ネットワークを活用し、中国、ロシア、ベトナムからのバイヤー企業招聘をサポートいたしました。

北陸銀行

北海道銀行

「北海道・東北・北陸ビジネスマッチングin東京～6次産業化商談会」の開催

ほくほくフィナンシャルグループと東北・北海道地区交流促進地銀連携の連携を活かし、6次産業化を展望した商談会を開催しました(出展企業:36社)。

ほくほくフィナンシャルグループは今後も、北陸・北海道・東北の地域間連携による相乗効果を発揮し、お取引先の新商品開発や新規事業をサポートしてまいります。



商談会の様子(平成28年2月)

3. 地域密着型金融の取組み

(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

②最適なソリューションの提案

③顧客企業等との協働によるソリューションの実行及び進捗状況の管理

創業・新事業開拓

販路開拓・海外進出

経営改善支援・事業再生

事業承継・M&A

- お取引先の特性等を踏まえた実効性のある経営改善計画の策定を支援
- 外部専門機関と連携し、お取引先の課題解決となる提案活動を実施

北陸銀行

■「M&A株価診断・相談会」の開催

後継者不在などの要因によるM&Aニーズが高まっていることから、北陸三県、北海道地区の計5会場にて専門家による「株価の即時診断」と「個別相談」を実施し、計19社のお取引先が参加しました。

北陸銀行では専門部署として金融サービス部にM&Aチーム（4名（うち1名出向中））、プライベートバンキングチーム（6名）を配置し、高まるM&A、事業承継ニーズに対して迅速にサポートできる体制整備を図っています。



北海道銀行

■お取引先の経営課題解決に向けた取組み

北海道銀行は、お取引先の事業承継対策に向けた後継者・幹部人材の「育成」をサポートするため「道銀・経営塾」を17期継続開催（平成27年度まで。幹部育成コースは6期継続開催）しております。

また、取引先企業が抱える後継者・経営幹部・管理職・有資格者などの人材「採用」ニーズにも対応するため、平成27年7月には株式会社パソナと、平成28年3月には札幌に本社を置くリージョンズ株式会社と業務提携し、サポート範囲を拡大しています。

経営改善支援の取組み実績（平成27年度）

北陸銀行の取組み状況

※先数、比率には正常先を含んでおりません

期初債務者数	10,741先	経営改善支援 取組み率	4.17%
経営改善支援取組み先数	448先	再生計画策定率	89.28%
再生計画策定先数	400先	ランクアップ率	15.62%
ランクアップ先数	70先		

※上記のほか、事業計画の策定が必要な先として1,317先選定しており、その計画策定率は99.01%となっております。

北海道銀行の取組み状況

※先数、比率には正常先を含んでおりません

期初債務者数	3,054先	経営改善支援 取組み率	8.48%
経営改善支援取組み先数	259先	再生計画策定率	84.55%
再生計画策定先数	219先	ランクアップ率	8.48%
ランクアップ先数	22先		

※上記のほか、金融円滑化の事後フォロー先として437社を選定しており、その計画策定率は100%となっております。

3. 地域密着型金融の取組み

(2) 地域の面的再生への積極的な参画

- 地域の可能性拡大に向けた成長分野への取組みや中小企業の成長促進等により地域経済活性化をサポート
- 将来の地域を担う若い世代への各種教育を通じた長期的視野での地域貢献
- スポーツ振興活動や地域活動への積極的な参加等の各種CSR活動を通じた地域への貢献

北陸銀行

■ 地域の人財育成への取組み

➤ エコノミクス甲子園富山大会・福井大会の開催

高校生が金融・経済を学ぶクイズイベント「エコノミクス甲子園（全国高校生金融経済クイズ選手権）」の地方大会を開催しました。高校生がライフデザインやお金との関わり方を考えるきっかけ作りにも取り組んでいます。

➤ 大学生を中国・大連へ研修派遣（今回で7回目）

国際社会で活躍する人財の育成を目的とする社会貢献の一環として、富山大学、富山県立大学、金沢大学の学生18人を中国・大連へ派遣しました。北陸企業の現地工場視察や現地の学生との交流を通じて、中国の経済や文化について理解を深めました。



エコノミクス甲子園参加者
(平成27年12月)



大連研修の様子
(平成28年3月)

北海道銀行

■ 地域の可能性拡大・金融教育に向けた取組み

➤ 株式会社スノーピークとの連携協定締結

北海道内各地の観光資源であるアウトドア施設の「活用強化」「磨き上げ」支援等を目的とし、同社と連携協力協定を締結いたしました。

➤ エコノミクス甲子園北海道大会の開催

「エコノミクス甲子園」を道内15信金信組のみなさまとともに道内5都市で地区予選を開催、道内31校59チームにご参加いただきました。12月には予選を勝ち抜いたチームによる北海道大会を開催しております。



スノーピークとの連携協定締結
(平成28年2月)



「エコノミクス甲子園 北海道大会」
(平成27年12月)

(3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信

北陸銀行

北海道銀行

ホームページや定期刊行物（『地域密着型金融の推進』、『ディスクロージャー誌』、『ミニディスクロージャー誌』）をより見やすく、より分かりやすく、より多くの皆さまにご覧いただけるよう工夫を継続してまいります。



3. 地域密着型金融の取組み

(4) 平成27年度目標項目の達成状況

北陸銀行

目標項目	27年度 目標	27年度 実績	達成率
研修受講者数 (融資審査関連)	800人	1,289人	161%
債務者区分 ランクアップ件数	60件	70件	116%
業務提携先等活用の 提案件数 (国際業務支援)	300件	223件	74%
事業承継提案訪問件数	480件	825件	171%
工場見学実施回数 (産業調査部帯同)	50回	52回	104%

北海道銀行

目標項目	27年度 目標	27年度 実績	達成率
研修受講者数 (融資審査関連)	230人	329人	143%
債務者区分 ランクアップ件数	25件	22件	88%
海外進出支援取組件数	150件	211件	140%
外部機関・専門家の 活用件数	30件	31件	103%
ビジネスマッチング 成約社数	600件	684件	114%

4. 事業性評価に基づく取組み

- 財務などの定量面だけでなく事業の持続可能性や成長性を見極め、経営課題解決に向けた提案・実行支援を実施
- これらの活動を通して担保・保証に依存しない融資の推進

北陸銀行

■ 事業性評価レポートによる多面的な実態把握

平成27年度に約240先の事業性評価レポートを作成し、商流把握や外部・内部環境分析を行っております。お取引先との意見交換を通じて、経営課題を共有し、地域企業への積極的な支援に努めてまいります。

■ 行員の目利き力を高める取組みを継続中

➤ 目利きコンテスト開催

お取引先の製品・技術を理解し、その特性を活かした事業戦略などの発表が行われ、約400名の行員が聴講し、意見交換が行われました（今回で6回目）。



目利きコンテストの様子
(平成28年2月)

➤ 工場見学

見学を通して、お取引先の特徴・強み・悩みを共有し、経営課題と一緒に取組むために営業店・本部が一体となって実施しております。



工場見学の様子

北海道銀行

■ 事業性評価のさらなる活用

北海道銀行は、事業性評価を活用した取引先企業の深度ある分析を通じ、お取引先との経営課題の共有、担当者の育成に取り組んでおります。

例えば、平成27年度の企業再生支援活動においては、事業性評価の手法を用いた定期的なモニタリングや事業特性・外部環境の検証を通じ、経営課題を分析する取り組みを実施。SWOT分析の実施件数（累計）は113先（グループ）となりました。今後も、さまざまなライフステージにあるお取引先の事業内容や成長可能性等について、過去の財務データ等以外の情報を多岐に亘り取得、適切に評価・分析（事業性評価）し、その結果を踏まえた経営課題解決の支援や担保・保証に依存しない融資の推進に取り組んでまいります。

平成28年度は、新たに管理職以上を対象とした「事業性評価研修会」（外部講師活用）を実施し、知識向上を図る予定です。

【経営者保証ガイドラインに基づく実績】

平成27年度 主要計数	北陸銀行	北海道銀行
新規に無保証で融資した件数	4,739件	2,205件
保証契約を変更した件数	869件	79件
保証契約を解除した件数	778件	498件

5. 特集 創業支援への取組み（北陸銀行）

✓ 地域雇用、地域資源の活用へ繋げるため、創業支援体制の構築に取組み、創業者への総合的なサポートを行ってまいります。

体制整備

「創業支援チーム」の発足

平成28年1月に創業者へのサポート体制強化を目的として「創業支援チーム」を発足しました。
専属の担当者が、事業計画の策定、創業後の販路拡大・人材確保に関するビジネスマッチング情報の提供や、セミナーの開催など、きめ細かなサポートを行います。

外部連携

日本政策金融公庫・信用保証協会との連携

富山・石川・福井県の日本政策金融公庫各支店および各県の信用保証協会と連携・協力に関する覚書を締結しました。
本連携により、創業者の相互紹介による円滑な資金調達の実現や、各種創業セミナーの開催などを協力し合うことで、創業者へのサポートを充実させてまいります。

総合的なサポートを実施

お客さまの
ステージ

創業検討

創業準備

創業

創業後

事業拡大
事業安定

意欲醸成

「ほくぎん女性起業支援セミナー」の開催

平成27年12月に女性起業家や起業を検討されている女性を対象に、新ビジネス事業化支援としてセミナーを開催し、約60名に参加いただきました。セミナーでは女性起業家による体験談のほか、融資制度や関連施策の説明が行われ、活発な意見交換が行われました。

また、平成28年5月にも「ほくぎん創業支援セミナー」～創業のチカラ～の開催を予定しており、継続的な情報発信に努めてまいります。



セミナーの様子（平成27年12月）

ツール整備

創業者向け商品・サービスの提供

- 融資商品の発売（平成28年3月）
「ほくぎん創業支援ローン」
…日本政策金融公庫や信用保証協会と連携も可能な資金
「ほくぎんオーナーズローン」
…インターネットで24時間365日お申し込み可能な資金
- 「創業計画書策定の手引き」の発刊（平成28年3月）
- 北陸三県では初の試みとなる専用ホームページ1年間無料サービス（平成28年6月開始予定）
- 創業時の口座開設者を対象としたインターネットバンキング6ヶ月間無料サービス（平成28年1月）



5. 特集 北海道新幹線開業に向けた取組み (北海道銀行)

北海道・東北地区の交流（観光・ビジネス）促進に向けた取組み

商談会・ビジネスマッチング

P5掲載の「北海道・東北・北陸ビジネスマッチングin東京～6次産業化商談会（28/2）」を開催した他、イトーヨーカドー170店舗で開催した「北海道新幹線開業記念！『北海道函館・青森フェア』（3/22～3/27）」出展者募集商談会を実施

北海道じゃらんと連携企画

道南・東北地区観光促進に向け、「函館・道南魅力発掘隊（27/4～28/3）」「道南・東北の魅力再発見（28/3）」「函館・道南ガイド（フリーペーパーの作成、28/3）」等の情報発信を北海道じゃらん誌等上で展開

金融商品・サービスの提供を通じた取組み

VIEWカードとのATM業務提携

北海道新幹線利用者の利便性向上を目的に、JR東日本駅構内約300カ所のATM「VIEW ALTE」（ビューアルッテ）で北海道銀行キャッシュカードの利用を可能といたしました（平成28年3月28日開始）

岩手銀行とのATM業務提携

平成28年3月7日、岩手銀行と他行利用手数料相互無料化提携が実現いたしました（荘内銀行、みちのく銀行、秋田銀行、東邦銀行、青森銀行（提携日順）に続き東北地銀で6行目）

北海道新幹線開業記念キャンペーンの実施

『北海道新幹線開業記念〔道銀×北海道新幹線〕春のデビューキャンペーン』

〔平成28年3月1日～4月28日〕を実施、期間中に店頭で新規普通預金口座を作成いただいたお客様、道銀キャッシュ・クレジットカードKitacaのお申込みをされたお客様を対象に景品を進呈いたしました



機運醸成に向けた取組み

- 当行役職員名刺への新幹線ロゴ印刷
- 主要43店舗への新幹線開業カウントダウンボード設置
- 各店での開業PR画像の配信
- 北海道銀行本店ビルへの「行こうよ。東北」東北6県ディスプレイ、壁面への懸垂幕設置
- 新幹線キャラクターデザイン贈答品の作成・配布
- 新幹線に手を振り隊への参加（木古内町）
- 北海道新幹線PR卓上のぼりを全店のカウンターへ設置

新幹線開業に向け、道内の機運醸成に向けた各種取組みを実施。名刺へのロゴ印刷やカウントダウンボードの設定、PR画像の配信などを実施した他、開業日には道南地区の職員が木古内町の歓迎イベントに参加、大漁旗を手に新幹線を出迎えました。



4月以降も引き続き、北海道・東北地区の交流促進、北海道の魅力発信に向けた取組みを継続してまいります



ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group